

平成22年度財団法人埼玉県体育協会  
第2回理事会議事録

日時：平成22年9月6日（月） 午後2時00分より

会場：財団法人埼玉県自治会館4階ホール

出席者：櫻井 勝利 森 正博 関根 郁夫 三戸 一嘉 岡野 進一  
押田 一 小原 敏彦 金子 晃之 斎藤 明博 坂口 信豊  
島野 直 鈴木 征 高橋 利明 田巻 隆平 豊田 幹雄  
中田 茂男 中田 善雄 野口 省吾 羽田 聡 藤沼 貞夫  
船田 昭介 宮内 孝知 村井 恒夫 村田 次郎 茂木 敬司  
諸口 高男 山下 晴海 山本 重幸 油井 正幸 横川 朝治  
渡邊 淳  
以上31名

委任者：岩崎 金治 小山 吉男 豊泉 一雄 以上3名

陪席：渋澤 重雄（埼玉県教育局市町村支援部スポーツ振興課）  
以上2名

事務局：岩崎 充晃 長谷川 伸 栗原 健一 阿部 隆宏 久保 吉史  
以上5名

あいさつ 櫻井勝利副会長  
渋澤重雄スポーツ振興課長

定足数の確認

【岩崎】 理事37名のうち出席31名・委任3名・合計34名、寄附行為第26条第2項により理事会成立を報告。

議長は寄附行為26条及び第16条第3項により櫻井勝利副会長。

議事録署名人

【櫻井】 寄附行為第27条により議事録作成にかかる署名人2名を指名させていただく。山下晴海理事・押田一理事。

報告事項

千葉国体の展望について

【三戸】 愛称・会期等をご覧の通りですが、会期前実施競技として、水泳競技の競泳・水球・シンクロ・飛び込みとゴルフが五月雨式に実施されます。

関東ブロック予選の突破率は、対昨年比1.7%減で61%。東京都は11.8%増で本県と同じく61%。神奈川県が1.7%増で50%。

群馬県は、関東予選会の会場地であり、地の利と県からの特別枠の予算で強化を図った結果14.4%増の39.8%。

本県の選手団は、所期の目標の突破率70%を達成出来なかったため、先

般開催された選手強化対策委員会でも厳しい戦いが予想された。

冬季大会終了時での本県選手団の成績は、天皇杯第 5 位・皇后杯第 16 位、第 4 位に東京都、第 7 位に神奈川県。

また、第 9 位に大阪府があり、昨年よりも 57 点多く、昨年は最終日に逆転されているので侮れない。

大阪府、神奈川県には負けないように頑張っていきたい。第 3 位を獲得確実にするためには、1900 点が必要だと思われる。

## 専門委員会の活動経過について

### (総務委員会)

【三 戸】 平成 8 月 3 日に開催、本日議題の公益法人への移行時期や自主財源の確保等について話し合われました。

公益法人への移行については、後ほどご審議頂きますので省かせていただきます。

自主財源の確保については、協賛金の導入や指定寄付による免税募金、スポーツ推進費付き自動販売機の設置やチャリティー大会等々ご意見をいただいた。今後、検討していきたい。

最後に、本日の議題に上げました日本体育協会創立 100 周年事業のシンポジウムへの参加については、本会役員等の研修も兼ねて参加したい。

### (強化対策委員会)

【三 戸】 平成 22 年 8 月 30 日に第 2 回選手強化対策委員会を開催いたしました。

先ほど報告した「ゆめ半島千葉国体」の展望や、12 競技 13 名の会長指名派遣、ドーピング競技会外検査選手の対象者の選定、選手団旗手の選考などを行った。

### (普及委員会)

【金 子】 平成 22 年 7 月 7 日に第 1 回普及委員会を開催いたしました。併せて、役員改選を行い、私が委員長を拝命し、副委員長には諸口高男理事、渡邊淳理事にお引き受け頂きました。

会議の主な内容は 2 点あり、一点目は、普及活動についてで、キャッチフレーズを活用した取り組みは、継続的で、且つ、人目に付くことを念頭に取り組んで行くことが話し合われました。

二点目は、総合型地域スポーツクラブ関係で、スポーツ団体の自主自立がスポーツの普及にも繋がることから、今後、体育協会の使命や役割についても本委員会で検討して行きたいと考えております。

以上、二点の他に、郡市町村体育協会連絡会議の報告や、本日、議題にもあります、日本体育協会創立 100 周年記念関連について報告がありました。

### (広報委員会)

【小 原】 平成 22 年 7 月 7 日に第 1 回広報委員会を開催いたしました。併せて役員改選を行い、私が委員長を拝命し、副委員長には押田一理事、小山吉男理事にお引き受け頂きました。

会議の主な内容は、昨年度未発刊となっていた広報誌「スポーツ埼玉」についてで、今年度より新たにリニューアルして発刊する方向で検討いたしました。

昨年度リニューアルした埼玉県体育協会のホームページとの棲み分けも含めて、より効果的な広報活動ができるよう取り組んでまいります。

なお、広報誌編集に関する詳細については、正副委員長にて協議いたします。

その他、本会が所有しているスポーツイベント写真の展示やホームページにおけるダウンロードサービスについて報告がありました。

8月4日には、正副委員長会議を開催し、広報誌の編集方針など詳細について話し合わせ、仕様等については、決まり次第理事会にて改めて報告させていただきます。

最後に、日本体育協会100周年記念誌「都道府県体育協会のあゆみ」の原稿執筆についても話し合わせました。

(スポーツ科学委員会)

【宮内】 前回の理事会以降について報告いたします。8月末に、ゲートボール競技の資格更新のための講師派遣依頼があり、私に対応させていただきました。

アンチ・ドーピング小委員会での取り組みとして、県医師会・県歯科医師会・県薬剤師会にご協力をお願いし、各施設の窓口等にアンチ・ドーピングのリーフレットを設置いただき、ドーピング教育啓発活動と、禁止薬物等の質問などに対応いただけるよう進めている。

選手や監督の啓発だけでなく、それらを取り巻く環境のアンチ・ドーピングの体制づくりとして進めている。

(スポーツ少年団)

【藤沼】 7月23日から25日の三日間、山梨県において関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会が開催され、本県からも野球・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・空手道の5種目に参加いたしました。

本年の日独同時交流は、小鹿野町において7月25日から8月4日の10泊11日の日程で受け入れを行っていただいた。指導者1名団員11名計12名が来日し、小鹿野歌舞伎など町を上げた郷土文化とスポーツ交流が図れた。

夏休みの間に、バスケットボール、剣道、柔道の三種目の種目別大会を実施いたしました。

(県立武道館)

【櫻井】 8月に指定管理者の評価があり、A査定を頂いたのでご報告いたします。

但し、武道館主道場の稼働率については目標を達成出来なかった。協定書では、午前・午後・夜間全て利用された日を一日利用されたとしており、その稼働率を85%以上に設けている。

現在、約81.9%まで稼働させてきているので、目標達成に向けて鋭意努力をして参ります。

その他（国民体育大会冬季大会埼玉県選手団ユニフォームについて）

【櫻井】平成22年8月17日に、国民体育大会冬季大会埼玉県選手団ユニフォームのデザインコンペの入札及び、請負業者選定委員会を開催し、株式会社丸幸が落札した。

本大会選手用ユニフォームのカラーを基本にコート型を作成し、来る第65回国民体育大会及び関東ブロック大会から着用致します。

## 協議事項

第一号議案 平成22年度の一般会計予算の一部補正について

【岩崎】第三議案とも関連があるので、先に日本体育協会・日本オリンピック委員会創立100周年記念事業についてご説明させていただきます。

日本体育協会と日本オリンピック委員会は、創立100周年を迎えるにあたり、祝賀式典の開催、シンポジウムの開催、記念誌の発刊や、岸記念体育会館の建て替えなど、様々な記念事業が計画されております。

これらに関連し、日本体育協会から都道府県体育協会組織基盤整備助成事業の内示と同事業への支援、並びに福島会場で行われるシンポジウムへの参加について依頼がありました。

そこで、この事業に関連した補正を行いたい。組織基盤整備費を一般会計の日体協補助金等収入に1,477,000円補正増し、管理費支出の役員旅費交通費に200,000円補正増。残りの1,277,000円をスポーツ振興事業特別会計へ繰り入れし、各種体育大会費支出に補正増したい。

また、日本体育協会を支援するための支出する寄付金を、予備費から渉外費へ300,000円補正増したい。

次に、スポーツ振興事業特別会計では、特別強化訓練費で計上した、消耗が激しく高額となる競技用消耗品の補助を、効率よく且つ集中的に強化行事を実施するために、第1期強化訓練費支出に1,950,000円補正したい。

【櫻井】第一号議案について何かご意見ご質問等ございますか。

【全員】なし。

【櫻井】お諮り致します。第一号議案平成22年度予算の一部補正について原案のとおりご承認いただけますか。

【全員】承認。

【櫻井】第一号議案は原案のとおり承認することに決しました。

第二号議案 公益財団法人移行時期について

【三戸】総務委員会や正副会長会議でご検討いただいた結果、平成24年4月を持って移行したい。

主な理由として、公益法人に移行する場合、移行登記の前日までの決算が必要になるため、年度途中で移行すると、その決算と公益法人の年度決算の2回決算をするため事務的負担が多大なこと。

2番目として、現在、埼玉県でも2件しか認定が無く、公益・一般ともに

移行期限が平成 25 年 11 月末日までであり、駆け込み申請も考えられる。

最後に、日本体育協会が平成 23 年 4 月の移行を決定し、新会長等の次期役員や定款等の諸規程を承認したので、それらを参考に出来る。

なお、平成 24 年 4 月 1 日は日曜日なので、移行登記日は、平成 22 年 4 月 2 日（月）になると思われる。

【櫻 井】 第二号議案について何かご意見ご質問等ございますか。

【全 員】 なし。

【櫻 井】 お諮り致します。第二号議案公益財団法人移行時期について原案のとおりご承認いただけますか。

【全 員】 承認。

【櫻 井】 第二号議案は原案のとおり承認することに決しました。

#### 第三号議案 理事等役員研修について

【岩 崎】 先ほどご説明した日本体育協会創立 100 周年記念事業の一環として行われるシンポジウムに理事等の研修会として参加したい。

会場は、福島県郡山市にあるビックパレットふくしまで、川淵三郎氏による基調講演やパネルディスカッション、レセプションが行われる。

参加料は、昼食代と車中の飲み物代をご負担いただきたい。その他日程等については資料の通りです。

【櫻 井】 第三号議案について何かご意見ご質問等ございますか。

【全 員】 なし。

【櫻 井】 お諮り致します。第三号議案理事等役員研修について原案のとおりご承認いただけますか。

【全 員】 承認。

【櫻 井】 第三号議案は原案のとおり承認することに決しました。

#### 第四号議案 競技団体親睦ゴルフ大会について

【三 戸】 以前から、競技団体間の交流をもっと活発にした方がいいとのご意見があり、今回初めての試みなので議案として提出いたしました。

日頃の強化活動は本より、競技会運営など様々なご苦勞に感謝・ご慰勞すると共に、競技団体役員・指導者の相互交流と親睦を深めたいと思います。

期日は、平成 22 年 11 月 26 日（金）で、会場を霞ヶ関カンツリー倶楽部で実施致し、会費は約 20,000 円、各団体 4 名による団体戦と参加者の個人戦を行い、団体及び個人の成績優良団体・個人を表彰したいと思います。

なお、この親睦大会の企画は、坂口信豊理事のご尽力と、霞ヶ関カンツリー倶楽部、埼玉県ゴルフ協会さんのご協力得て実施されます。

【櫻 井】 第四号議案について何かご意見ご質問等ございますか。

【全 員】 なし。

【櫻 井】 お諮りいたします。第四号議案競技団体親睦ゴルフ大会について原案のとおりご承認いただけますか。

【全 員】 承認。

【櫻 井】 第四号議案は原案のとおり承認することに決しました。

その他（定款（案）の概要）

【三 戸】 総務委員会で使用した資料をまとめ直したので参考としていただきたい。

モデル定款に準拠しているが、現在未定の移転先や本協会の公益目的事業と収益目的事業の棲み分け、評議員数、理事数、役員の数、費用弁償の範囲など今後検討が必要。

また、現行の評議員会性格が変わる関係上、独自設定として（仮称）加盟団体協議会の設置や、各種委員会見直しや設置。

最後に、本会及び加盟団体並びにその構成員の義務と、それに反した時の処置についても検討していきたい。

以上全議事を終了し 15 時 17 分閉会